

日本子ども家庭福祉学会第21回全国大会 第1報

【ご挨拶】

会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

第18回日本子ども家庭福祉学会全国大会が2020年6月6日（土）・7日（日）に東洋大学で開催されるにあたり、大会校よりご挨拶申し上げます。

本大会のテーマは「インクルージョンの現在と未来」です。国連が採択した、2016年から2030年までの国際目標である「持続可能な開発のための2030アジェンダ:Sustainable Development Goals:SDGs」では、前文、宣言で「誰一人取り残さない」との語が繰り返し示されています。そして、宣言8では「人種、民族及び文化的多様性に対して尊重がなされる世界」に向かって取り組むとしています。この概念は、インクルーシブな社会の構築、といえるものであり、日本の子ども家庭福祉においてもその重要度は増しています。

インクルージョンという概念は、障がい、ジェンダー、性的多様性など幅広い対象に関わりますが、本大会では外国にルーツをもつ子ども家庭に焦点をあてます。グローバル化の進展、そして定住外国人の増加とともに、子ども家庭福祉の領域も、外国にルーツを持つ子ども家庭の育つ権利、生きる権利をどのように保障していくべきか、という課題に直面しています。こうした問題意識のもと、大会1日目には「子ども家庭福祉とインクルージョン-国籍、文化の壁を崩して実現すべき平等とは何か」と題する基調講演を予定しています。そして、この基調講演をふまえ、「インクルージョンの現在と未来-多文化背景をもつ子ども家庭の支援と包摂」というテーマでシンポジウムを開催します。大会第2日目は、例年通り、各分科会にて自由研究発表を行います。子ども家庭福祉の新たな知見を議論することで切磋琢磨し合うとともに、研究者・実践者の交流をはかっていく機会としていただければ幸いです。

第21回大会は、「国際化」を教育の柱のひとつとしている東洋大学としても、重要なものと位置づけられております。この大会において、子ども家庭福祉に携わる研究者や現場の方々が、子ども家庭福祉の未来を考えていくための新たな出会いの場としていただけることを期待しております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日本子ども家庭福祉学会第21回全国大会運営事務局
事務局長 南野奈津子（東洋大学）

開催概要

1. 日程	2020年6月6日(土)・7日(日)
2. 会場	東洋大学白山キャンパス(東京都文京区)
3. 大会テーマ	インクルージョンの現在と未来
4. 大会 スケジュール(予定) *各会場場所は 調整中	<p>第1日目 6月6日(土)</p> <p>11:30～ 受付開始</p> <p>12:30～13:00 民間団体活動推進調査事業成果報告会</p> <p>13:00～13:30 総会</p> <p>13:30～13:40 開会式</p> <p>13:45～14:55 基調講演(公開)</p> <p>『子ども家庭福祉とインクルージョン - 国籍、文化の壁を崩して実現すべき平等とは何か』</p> <p>宮島 喬氏(お茶の水女子大学名誉教授)</p> <p>15:10 - 17:10 シンポジウム(公開)</p> <p>『インクルージョンの現在と未来-多文化背景をもつ子ども家庭の支援と包摂』</p> <p>・内田千春氏(東洋大学ライフデザイン学部教授)</p> <p>・石井素恵氏 (川口市子ども部保育入所課指導係主査)</p> <p>・栗林知絵子氏 (豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク理事長)</p> <p>17:30 - 19:00 懇親会 (8号館1階 Tres Dining)</p> <p>第2日目 6月7日(日)</p> <p>8:40 - 受付開始</p> <p>9:00 - 12:00 分科会「自由研究発表」</p> <p>12:00 - 13:00 休憩</p> <p>13:00 - 16:00 分科会「自由研究発表」</p>

◆参加費

会員 : 事前申し込み 4000 円、当日申し込み 5000 円

非会員 : 事前申し込み 5000 円、当日申し込み 6000 円

第1日公開プログラム 1000 円

【今後の予定】

・大会参加登録、自由研究発表申し込み、懇親会申し込み等は、3月中旬より4月中旬に、大会専用のホームページにて受付を行う予定です。準備が整い次第、学会 HP にてお知らせいたします。